

かわにし 市議会だより No.229

令和2年
2020年
12月

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

市花りんどう



9月定例会+決算特集号 **もくじ**

電子プレミアム付商品券に関する
補正や各会計決算を審議 2

常任委員会報告

総務生活常任委員会 3
厚生文教常任委員会 4
建設公企常任委員会 5

審議結果等一覧・賛否の状況 6

決算委員会報告

一般会計 8
特別会計 10
公営企業会計 11

一般質問 12

厚生文教常任委員会

委員（委員長＝〇 副委員長＝〇）
 ◎江見 博男 ○中井 成郷 麻田 寿美
 中曾千鶴子 磯部 裕子 西山 博大
 岡 留美 黒田 美智 斯波 康晴

（仮称）川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業に係る契約の締結について

本案は、（仮称）川西市中学校給食センター整備・運営に係るPFI事業を施行するに当たり、契約を締結するにつき、議会の議決を求めるものである。

質問 市の南部に給食センターを1カ所設置することとしているが、本市の南北に細長い地形を考慮すると、災害による交通遮断や現在のコロナ禍のような想定外の事象が発生した際に、必要な給食の配送が可能なか不安である。

そこで、このようなリスクへの対応策について市の考えを伺いたい。

答弁 センターの立地については、運営上非効率ではないかとの指摘を受けて、配送に関するさまざまなシミュレーションを行った上で今回の議案提出に至っている。また、交通遮断時の対応に関して

は、バックアップ車両により全校へ配送することを想定しているほか、感染症をはじめとするリスクについても、解消または減少させるよう事業者と誠実に協議していきたい。

反対意見 本市の地形を考慮すると、1カ所で全校の給食を賄うことや災害時の配送ルートの確保に課題がある。総合評価方式による契約先選定についてもプロセスが市民からは見えにくいいため、本案には反対する。



中学校給食センターイメージ図

令和2年度川西市一般会計補正予算（第7回）〈分割付託〉

質問 乳幼児健診予約システムの導入等に関する経費が計上さ

れているが、予約システムを導入する乳幼児健診の種類や、端末が使えないなどシステムが利用できない方への対応について伺いたい。

答弁 乳幼児健診は以前から待ち時間が長いという課題があったことに加え、一般のコロナ禍の状況も踏まえて健診時の待ち時間解消を目的としてインターネットによる予約を可能とするものである。詳細はこれから詰めるが、当初は少なくとも1歳6カ月と3歳の法定健診には導入したいと考えており、4カ月、10カ月等の健診についても順次導入する方向で検討を進めたい。

質問 JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）において、新型コロナウイルス感染症の影響により来日できなくなったALT（外国語指導助手）計11名の代替要員に係る経費が追加されているが、今後の見通しはどうか。

答弁 現状は、ALTや地域人材による十分な時間数が当初の予定より確保できていないほか、配置自体が困難な学校もある。今後については、JETプログラ

建設公企常任委員会

委員（委員長＝〇 副委員長＝〇）
 ◎大矢根秀明 ○松隈 紀文 山下 隆志
 吉岡 健次 田中 麻未 平岡 謙
 小山 敏明 谷 正充 久保 義孝

市道路線の認定及び廃止について

本案は、市道路線の認定及び廃止を行うに当たり、道路法第8条第2項及び第10条第3項の規定により、議会の議決を求めるものである。

質問 新たに認定する大和東5丁目から豊能町光風台4丁目方面を結ぶ市道2206号は幅員が6.2メートルから15.1メートルと示されているが、全体的な幅員の状況や、車両の通行規制について伺いたい。

答弁 この路線はおおむね幅員6.2メートルで整備しており、最大値15.1メートルは大和東側の交差点の隅切り部分として大きくなっているものである。

通行規制については、自動車やバイクに対する規制を特に豊能町の住民から強く要望されているため、歩行者と自転車のみ通行可としている。したがって、通常は緊急車両も通行できないが、地震や風水害など非常時には通行を可能とする取り扱いと

していききたい。

令和元年度川西市一般会計補正予算（第7回）〈分割付託〉

質問 大和地区での補助対象バス路線の再編検討を行うための業務委託料として280万円が計上

されているが、業務委託によらず市職員が地域住民と対話しながら進めるほうが、地域との協力体制の構築や職員の能力向上に資するメリットがあると考える。この業務の進め方について、市の考え方を伺いたい。

答弁 バス路線の再編検討に当たっては、地域住民との良好な対話のもと、職員のスキルを向上させる必要性は認識している。今回の業務委託については、第三者的立場でのファシリテーション型コンサルティングを入れることで事業が円滑に進捗するといった経験に基づく助言を公共交通事業者から受けた経緯もあり、業者の専門的知見を生かしていく考えである。

なお、業務委託の内容は、地域公共交通会議とその下部組織であるバス部会の開催支援や、運賃・ダイヤ変更に関する分析・シミュレーションといった市が不得手な部分に対する技術的支援や、市の取り組みの側面的支援を予定している。

質問 面積が2500平方メートル以上の公園を対象に手洗い場を設置するため工事費用2500万円を計上している点について、今回の工事完了により設置率は46%になるとのことであるが、市の長期的な整備方針について伺いたい。

答弁 今回の補正は50力所分として計上しており、これから現地の実態を確認した上で、地図上で俯瞰したときに空白地帯がないように設置していく考えである。

今後については、設置後に水道施設の維持管理が必要となる点や、コロナ対策のため公園に手洗い施設が欲しいという市民の要望を踏まえること、徒歩圏内にある近隣公園に優先的に整備することが望ましいと考えられている。

川西市黒川地区における開発行為及び建築行為に関する条例の制定について

本案は、黒川を中心としたまちづくり方針に基づき、地域の活性化を推進するため、新たに条例を制定しようとするものである。

質問 黒川地区を活性化するため、開発行為や建築行為の規制を緩和すべく条例を制定しようとする

ムをつかさどる一般財団法人自治体国際化協会（クレア）によると、来日可能時期を最短で11月末と想定して準備を進めているとのことであるが、見通しは不透明であることから、市としては、今回の補正予算で民間事業者による派遣の活用と地域人材を確保し、当初からの予定であった全校配置を目指す考えである。

質問 電子プレミアム付商品券は、一般分と子育て世帯分の2種類が発行されるが、現時点では一般分の購入には年齢制限がない上、子育て世帯分と重複して購入が可能となる予定である。未成年者もスマートフォンがあれば取引が可能であり、こうした運用には問題があると思うが、市の取り扱い方針を伺いたい。

答弁 確かに小・中学生もスマホを所有し得る時代となっており、振込等の取引の際にトラブルに巻き込まれる恐れもあることから、事業の実施方法については改めて慎重に検討したい。

賛成意見 電子プレミアム付商品券については、子どもがトラブルに巻き込まれないよう年齢制限を設けることや、スマホの有無に限らず全ての市民が公平に恩恵を受けられる事業推進を要望し、賛成する。

ものであるが、今後、黒川地区の自然や文化資源を生かしてどのようにブランド化を進めるのか、市の基本的な考え方を伺いたい。

答弁 黒川地区のブランド化は里山の保全なくして成し得ないが、同時に住民の暮らしを守らなければ里山は守れないと認識している。今回の条例は、黒川をブランド化していく上で、大切なものは守りながらブランド化に寄与する新たな取り組みの可能性を広げるものである。今後は、文化・観光・スポーツ課が主体となり、都市計画担当と連携しながら黒川地区の住民や関係者と十分協議してブランド化を推進していく考えである。



黒川地域

第6回川西市議会(臨時会) ※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

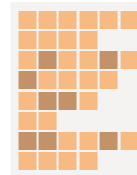
議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
認定第4号	令和元年度川西市一般会計決算認定について	令和元年度川西市一般会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	一 般 会 計 委 決 算 特 委
認定第5号	令和元年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を認定する	//	特 別 会 計 委 決 算 特 委
認定第6号	令和元年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第7号	令和元年度川西市農業共済事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市農業共済事業特別会計決算を認定する	認 定 (全員賛成)	//
認定第8号	令和元年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市介護保険事業特別会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	//
認定第9号	令和元年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第10号	令和元年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を認定する	認 定 (全員賛成)	//
選挙第2号	議長の選挙について	議長の辞職に伴い、新しい議長を選出する	選 挙 (投票)	-
選挙第3号	副議長の選挙について	副議長の辞職に伴い、新しい副議長を選出する	選 挙 (指名推選)	-
同意案第6号	監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新しい監査委員を選出する	同 意 (全員賛成)	-
選任報告第1号	議会運営委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい議会運営委員会委員を選任する	報 告	-
選任報告第2号	常任委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい常任委員会委員を選任する	//	-
選任報告第3号	特別委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい特別委員会委員を選任する	//	-
選挙第4号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員の選挙について	組合議会議員の欠員に伴い、新しい猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員を選出する	選 挙 (指名推選)	-

賛否の状況

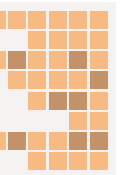
※賛否が分かれたもののみ掲載 賛成：○ 反対：× 欠席：-

議案名	議員名	市民クラブ "改革の風"					明日のかわにし					川西まほろば会					公明党					日本共産党 議員団			無所属		
		岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	多和桂子	田中麻未	坂口美佳	斯波康晴	小山敏明	西山博大	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	平岡謙	大崎淳正	麻田寿美	大矢根秀明	江見輝男	黒田美智	吉岡健次	北野紀子	吉富幸夫	中曾千鶴子	山下隆志
第5回 定例会	認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号(決算部分のみ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
	議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
第6回 臨時会	請願第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	
	認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
	認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
	認定第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
認定第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		

※地方自治法の規定により、秋田修一議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)



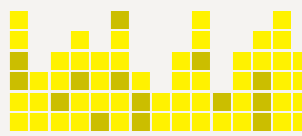
審議結果等一覧



第5回川西市議会(定例会) ※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
報告第17号	令和元年度中に権利放棄した債権の報告について	住宅使用料、公営住宅管理費、上水道料金 ほか	報 告	-
報告第18号	令和元年度川西市水道事業会計予算継続費精算報告について	配水池築造工事	//	-
報告第19号	専決報告について 専決第8号 令和2年度川西市一般会計補正予算(第6回)	本年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた川西市の新生児を対象に1人につき、5万円を給付するための経費を追加 ほか	承 認 (全員賛成)	-
同意案第5号	教育委員会委員の選任について	教育委員会委員の任期満了に伴い、坂本かおり氏を選任する	同 意 (全員賛成)	-
認定第1号	令和元年度川西市水道事業会計決算認定について	令和元年度川西市水道事業会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	公営企業会計 決 算 特 委
認定第2号	令和元年度川西市下水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算認定について	令和元年度川西市下水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	原 案 可 決 (全員賛成) 認 定 (賛成多数)	//
認定第3号	令和元年度川西市病院事業会計決算認定について	令和元年度川西市病院事業会計決算を認定する	//	//
議案第52号	高規格救急自動車の買入れについて	更新時期が到来したため、新たに高規格救急自動車を3630万円で購入入れる	原 案 可 決 (全員賛成)	総 務 生 活
議案第53号	土地の買入れについて	(仮称)東谷多目的広場用地に供するために3290万円で購入入れる	//	//
議案第54号	(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業に係る契約の締結について	(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業を実施するため契約を締結する	原 案 可 決 (賛成多数)	//
議案第55号	市道路線の認定及び廃止について	市道路線を新たに3路線認定し、1路線を廃止する	原 案 可 決 (全員賛成)	建 設 公 企
議案第56号	川西市税条例の一部を改正する条例の制定について	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の措置として、個人の市民税の寄附金税額控除の対象を拡大する	//	総 務 生 活
議案第57号	川西市黒川地区における開発行為及び建築行為に関する条例の制定について	黒川を中心としたまちづくり方針に基づき、地域の活性化を推進するため条例を制定する	//	建 設 公 企
議案第58号	令和2年度川西市一般会計補正予算(第7回)	歳入歳出予算の総額に13億5681万4000円を追加、歳入歳出予算の総額は754億9778万4000円	原 案 可 決 (賛成多数)	総 務 生 活 厚 生 文 教 建 設 公 企
議案第59号	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	国民健康保険税の課税事務における納税通知書作成等の一括業務委託に要する費用の追加 ほか	原 案 可 決 (全員賛成)	厚 生 文 教
議案第60号	令和2年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第4回)	新型コロナウイルス感染症対策として、デイサービスの利用自粛等により、増加が懸念される高齢者虐待を防止するための啓発に要する費用、国負担金等の前年度精算に係る費用の追加 ほか	//	//
報告第20号	令和元年度川西市一般会計予算継続費精算報告について	市立幼稚園・保育所一体化施設整備事業 ほか	報 告	-
認定第4号	令和元年度川西市一般会計決算認定について	令和元年度川西市一般会計決算を閉会中の継続審査とする	継 続 審 査 (全員賛成)	-
認定第5号	令和元年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第6号	令和元年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第7号	令和元年度川西市農業共済事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市農業共済事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第8号	令和元年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市介護保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第9号	令和元年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第10号	令和元年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和元年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
請願第3号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	国に対して、緊急に20人程度で授業ができるよう教職員増員と教室の確保を行うことなどを求める	不 採 択 (賛成少数)	厚 生 文 教
意見書案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	国に対して、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保することなどを求める	原 案 可 決 (全員賛成)	-

決算委員会報告



一般会計（歳入）

質問 固定資産税は、収入額が近年
 通減傾向にあるが、固定資産評
 価額に連動する地価の動向を伺いた
 い。

答弁 また、キセラ川西地区では事業の進
 捗による住宅の新築等により、固定資
 産税の増収要因があると考えますが、そ
 の影響についても伺いたい。

質問 本市の地価は、市中心部は上
 昇しているものの、全体として
 は下落基調にある中で、当年度の固定
 資産税については、大規模家屋
 の新築により前年度比0.9%、
 63万5千6789円の増となった。

答弁 また、キセラ川西地区については、
 前年度比で税収が約1千万円の増と
 なっている。

質問 622万2千円を収入してい
 る森林環境譲与税は、森林整備
 に係る人材育成・担い手の確保に充
 当

質問 元年度は、リユース子ども服
 譲渡会「ふくれル」を初開催し
 たところ、応募者多数のため抽選とな
 るなど好評を博したようだが、その詳
 細及び今後の方向性を伺いたい。

答弁 「ふくれル」は、子ども服の
 有効活用・子育て支援・ごみ減
 量意識向上を目的に開催したもので、
 52組161人が参加して478点がリ
 ュースされている。

本事業は市民に好評で、ごみの減量
 にも効果があることから、今後も継続
 して実施する考えであり、2年度も新
 型コロナウイルス感染症拡大予防に配
 慮して、インターネットを活用して実
 施した。



質問 イベント支援事業で、文化的
 資源の活用や川西のPRを目的
 に、川西市源氏まつりや川西おもる能

するとあるが、当年度における具体的
 な充当先や当該目的以外の活用のあり
 方について伺いたい。

答弁 元年度は、小学校で実施して
 いる里山体験学習や森林ポラン
 ティアの活動支援に対する補助金に充
 当したが、他に同様の活動があれば充

一般会計（歳出）

質問 第2次地方創生総合戦略策定
 に係る市民会議や参画と協働の
 まちづくり推進会議の委員に若年層を
 積極的に登用したが、その成果や取り
 組み等について伺いたい。

答弁 前者の会議では、参加した若
 年層で自治会未加入者の「契機
 があればまちづくりに参画したい」と

の開催支援として補助金を支出してい
 るが、観覧者数の減少や実行委員会の
 後継者不足など、今後の運営が懸念さ
 れる状況にあることから、これらのイ
 ベント振興に対する市の基本的な考え
 を伺いたい。

答弁 こうしたイベントは、本来市
 民主体のものであるが、市民イ
 ベントが行政の事業かがわかりにくく
 なっている状況である。

また、本市が清和源氏発祥の地であ
 ることやおもる能などの文化を市民が
 身近に感じられる環境づくりは重要で
 あり、一旦途絶えると再度実施するこ
 とは困難であることも踏まえ、イベン
 トのあり方や実施方法について、関係
 者と議論を深めたい。

質問 オンデマンドモビリティサイ
 ビス実証実験検討業務等を委託
 し、新たな公共交通の仕組みづくりの
 検討を行っているが、この実証実験の
 最終目標についての考えを伺いたい。

答弁 当該実証実験は、人口減少や
 高齢化が顕著なニュータウン等
 で新たな交通移動手段等を模索して、
 若者たちが住みたいと思うまちを創造
 するといったことを目的としている。

最終的には、実証実験を行った交通
 がその場所において、持続可能な交通
 の媒体になることを期待するものであ

当の対象となり得ると考えている。

質問 令和元年10月から幼児教育・
 保育の無償化が開始されたが、
 当年度の無償化に係る費用は全額国費
 で措置されたのか。また、令和2年度
 以降の財源見込みはどうか。

答弁 消費税増税に伴う財源が元年
 度は市へ交付されないため、無
 償化に伴い市が負担することとなった
 保育園・幼稚園等の保育料などの全額
 を子ども・子育て支援臨時交付金とし
 て国から交付された。

いう思いを確認することができた。

また、後者の会議では、40歳未満の
 委員枠を設けて公募したところ、35名
 の応募者のうち13名が委員に就任し、
 まちづくりに無関心な市民に関心を
 持ってもらうための方策等について議
 論していただいた。

り、交通の必要性や地域の交通課題の
 解決に向け、市からの補助等の必要性
 も認識している。

質問 防災士資格取得者は累計で87
 人となっている。さらなる有資
 格者増に向けて、当該資格取得に必要
 な講座を受講するための支援等の状況
 について伺いたい。

答弁 防災士の資格を取得するに
 は、ひよっこ防災リーダー講座
 をはじめとする所定の講座を受講する
 必要がある。その後、防災士の資格を
 取得された方に対して最大3万円の補
 助を行っている。当年度は8名の方に
 補助している。

質問 当年度に設置されたPTAあ
 り方検討会について、どのよう
 な議論がなされたのか伺いたい。

答弁 当該検討会は4回開催し、個
 人情報の取り扱いや任意加入と
 いったPTA活動で生じる課題や組織
 そのものについて議論を深めた。

答弁 教育委員会では、PTAが学
 校教育活動の場で重要な役割を
 担っていること認識しているものの、検
 討会においては、任意加入の組織であ
 ることを前提に議論しており、PTA
 を持続可能な形に変容させていかなけ
 ればならないものと考え、各校でそ
 のあり方について検討しているところ

◆一般会計決算審査特別委員会		◆特別会計・公営企業会計決算審査特別委員会	
◎大崎 淳正	○中井 成郷	◎津田加代子	○磯部 裕子
◎麻田 寿美	◎中曾千鶴子	◎吉富 幸夫	◎山下 隆志
◎松隈 紀文	◎秋田 修一	◎岡 留美	◎吉岡 健次
◎大矢根秀明	◎多久和桂子	◎坂口 美佳	◎平岡 謙
◎谷 正充	◎久保 義孝	◎斯波 康晴	◎北野 紀子
	◎福西 勝		◎田中 麻未
	◎黒田 美智		◎江見 輝男
	◎小山 敏明		

委員 長=◎
 副委員長=○

答弁 令和2年度以降は、普通交付
 税の基準財政需要額に算入され
 る形となるため、普通交付税が増額さ
 れるものと考えている。



質問 乳幼児等医療扶助事業で、受
 給者数が減少している一方で、
 支給額が増えている点について、ど
 のように分析しているのか伺いたい。

答弁 子どもの数が減少傾向にある
 中で、受給対象者も減少するこ
 とが想定されるが、平成29年7月から
 未就学児の所得制限撤廃や小学4年生
 から中学3年生を対象とした医療費の
 自己負担割合を2割から1割とする制
 度の拡充を行った結果、医療扶助費が
 増加したものと分析している。

ある。

また、PTAに加入しなくても子ど
 もや学校を支援したいという保護者も
 少なくないため、各校でその仕組みも
 模索している。

反対意見 令和元年度は、消費税率が
 引き上げられたことにより、消費税の
 負担が増加した。

また、市立川西病院に指定管理者制
 度が導入され、従前の病院職員の人生
 設計を大きく変えたほか、人件費の問
 題もあり必要な人員の確保ができず、
 特に窓口に影響が出ている。

さらには、補助金の見直しやPTA
 改革などにより、長年にわたり先人が
 培ってきた人と人とのつながりへの悪
 影響を危惧しており、本決算は認定で
 きない。

賛成意見 事業再検証が実施され、事
 業の見直しを進めているが、事業の経
 緯や長年事業に尽力した多くの市民に
 感謝し、影響する関係者に丁寧に接し
 ながら、住んでよかったと市民が実感
 できるまちづくりに取り組まれない。

また、限られた財源を有効に活用し、
 新型コロナウイルス感染症対策といっ
 た新たな課題にも着実に対応しなが
 ら、全職員が連携して市政を推進する
 よう強く要望し、本決算を認定する。

【委員会審査の結果：認定】

特別会計

国民健康保険事業

質問 当年度において、人間ドック、がん検診などの受診率向上に向けた特徴的な取り組みを伺いたい。

答弁 人間ドックは、案内文書の送付など従来の取り組みを継続したことに加え、がん検診では、平日の受診が困難な方を対象とした休日の出張特定健診会と同じ日に、近くの場所ですべて出張乳がん検診を実施した。

具体的には、午前には藤ノ木さんかく広場で乳がん検診、午後はアステ川西に移動して特定健診を受診してもらうことで、受診率向上に相乗効果があったものと分析している。

反対意見 当年度は、賦課限度額の引き上げにより市民負担が増加しているため、認定できない。

賛成意見 当年度から財政運営は県単位に広域化されたが、本市独自の状況を着実に国や県に意見することで制度が充実することを期待し、認定する。

【委員会の審査結果：認定】

後期高齢者医療事業

質問 年金からの天引き以外の方法で保険料を納める被保険者の滞納が当年度225人であったが、これら滞納者に対する市の対応について伺いたい。

答弁 未納者には、年間約3300件の督促状や約400件の催告書を送付して納付勧奨を行い、それでも納付がない方には、納付相談にお越しただくよう繰り返し案内している。保険収納課の窓口では、相談に来られた方の生活状況を確認し、福祉部門との連携が望ましい場合には担当部署へつないでおき、今後も同様に対応していく考えである。

反対意見 当年度は低所得者に対する保険料均等割の軽減特例措置が段階的に見直され、さらに市民の負担が増大する内容となっているため、認定できない。

賛成意見 高齢化とともに被保険者と保険料収納額も増加している中において、収納率が向上している点を評価し、認定する。

【委員会の審査結果：認定】

農業共済事業

質問 令和2年度から農業共済は県下で統合され、兵庫県農業共済組合に事業が移管となったため本会計は元年度で廃止となるが、これに伴う市の対応や移管後の加入状況について伺いたい。

答弁 県農業共済組合への移管後も窓口は市にあるため、事業に関する説明を丁寧に行い、加入者からの意見を聞く体制を従来どおりとっているほか、新たな課題には組合と連携して対応する考えである。

なお、元年度からは従来の当然加入がなくなり任意のみとなったが、各営農者は事業の重要性を考慮し、引き続き加入していると聞いている。

【委員会の審査結果：認定】

介護保険事業

質問 東谷地域包括支援センターの相談窓口を地域内のコンビニエンスストアに設置して当年度2年目となるが、利用状況について伺いたい。

答弁 コンビニの相談窓口はセンターのサテライトとして設置しており、当年度はセンター全体の6分の1に当たる107件の相談を受けている。立地が市立川西病院に近いため、退院後の介護サービス利用に関する相談や、要介護認定に係る説明及び申請代行などで幅広くご利用いただいているほか、介護予防を目的とする「きんたくん健康体操」を地域で行う場としても活用されており、一定の役割を果たしていると考えている。

反対意見 決算内容が消費税率改定の影響を受けているため、認定できない。

賛成意見 サービスの一層の普及・啓発を図ろうとする市担当の姿勢を評価し、認定する。

【委員会の審査結果：認定】

用地先行取得事業

本事業は、土地開発公社の健全化推進と事業用地の先行取得方法の集約化を目的として平成17年度に設置されたものである。

ある。

元年度では、豊川橋山手線整備事業の用地先行取得等のほか、(仮称)総合医療センター整備のため、病院事業会計へ用地売却を行っている。

反対意見 キセラ川西地区への市立病院移転には反対してきた立場から、当該用地を病院事業会計に売却した本決算は、認定できない。

【委員会の審査結果：認定】

グ(業務監視)方法の検討が要求水準に達しているかなどを確認していたが、平成29年度以降は行っていないとのことである。

そこで、今後のモニタリングの実施に関する市の考え方を伺いたい。

答弁 以前は業務委託によりモニタリングを実施していたが、事業の進捗に伴い、対象業務が29年度以降、維持管理業務等の2点に絞られたため、現在は業務委託することは考えていない。市としては、年度末に提出される成果報告書により要求水準の達成状況をモニタリングするほか、事業の進捗等をPFI事業者と毎月協議を行う中で確認している。

【委員会の審査結果：認定】

下水道事業

質問 近年は街路樹の根張りで下水水があふれる事案が多発している。そこで、当年度の発生件数や対応策等について伺いたい。

答弁 木の根による公共汚水ますの流水障害は大和団地28件、多田グリーンハイツ37件、清和台14件、その他39件発生しており、下水道本管についても計20件発生している。本市では、ストックマネジメント計画に基づく点検により、流水障害に早めに対処しているほか、新下水道ビジョンでは、古い管路から優先的に取り替える方向性を明確にしており、今後も予防保全的な対応を積極的に進める考えである。

反対意見 衛生的な市民生活に重要な下水道の使用料にも消費税が課されているため、認定できない。

賛成意見 近年は排水能力を超える雨水の処理が全国的な課題であるが、本市で

は、長期にわたり関係各所と調整を行い、粘り強く着実に対策を進めている点を評価し、認定する。

【委員会の審査結果：原案可決及び認定】

病院事業

質問 市立川西病院の経営が医療法人による指定管理者制度に移行して初めての決算となるが、初年度の総括を伺いたい。

答弁 看護師の退職に伴う病棟休止や看護基準変更など、厳しい局面においても指定管理者には懸命に病院を支えてもらったと認識している。

市としても、経営評価委員会や市民モニター会議の開催、市によるモニタリングの実施により、専門家・市民・市職員のそれぞれの立場で医療提供体制等を確認しており、今後も同院が公立病院としての役割を果たしていけるようチェックしていく考えである。

反対意見 病院事業に指定管理者制度を導入すること自体に反対であり、先行きに対して懸念材料があるため、認定できない。

賛成意見 市民に対し病院の経営状況についてしっかりと説明責任を果たされることを要望し、認定する。

【委員会の審査結果：認定】

公営企業会計

水道事業

質問 有収率(給水量のうち収益となった水量の割合)は全国平均を上回る高水準の95.4%だが、前年度から0.9ポイント低下しており、要因は漏水の増加が考えられる。

そこで、本市における漏水の状況について詳細を伺いたい。

答弁 市内での漏水は前年度より減少したが、宅外での漏水が増加しており、水道管の経年劣化による破損が主な原因と考えている。

答弁 その他の要因としては、発見困難な微量漏水が多数発生しているものと考えており、日々の配水量の変化を注視しつつ、漏水調査のさらなる強化に努めたい。

反対意見 コロナ禍で市民が厳しい生活

一般質問

交通

駅前駐輪場の一元的な管理・運営を

明日のかわにし 多久和桂子

質問 能勢電鉄各駅周辺等に設置されている自転車駐輪場（以下、駐輪場）は、有料の施設と無料の施設が混在しているほか、環境にも差異がある。

答弁 公平性や利便性の観点から、駐輪場を有料化し、一元的に管理・運営すべきと以前から要望しているが、現状や整備に向けた見通しはどうか。

答弁 市内各所の駐輪場は、運営形態や施設的环境がさまざまであり、地域間で格差が生じていることから、公平性・利便性を担保するために一元的に管理・運営する体制の構築が必要であると認識している。

従来、駐輪場の整備については、公益財団法人自転車駐輪場整備センターが整備した後、当該整備費を駐輪場利用料で回収し、償還後、市に返還するという手法を、全国的にとられてきた経緯がある。本市においても、JR川西池田駅、平野駅等10カ所ある有料の駐輪場を同センターが管理・運営しているが、償還期間に差異があり、市内のすべての駐輪場を一元的に管理・運営する体制の構築が困難となっている。



現在、未整備駅の整備を一齐に行い、収益の上がっている整備済の駐輪場と一体的に管理することで、全体として

黒字にするというスキームで検討を進め、一元管理体制構築の早期実現に向けて、同センターと協議を進めているところである。

準の年数を超過して使用する車両となるため、故障箇所も多く、修繕などに多額の維持費用を要するといった課題もある。しかし、感染リスクが高い搬送において、救急隊員のリスク低減に一定効果があると考えことから、今後、新型コロナウイルスをはじめとした感染症や熱中症などの対応も考えながら、さらに検討していきたい。

消防

救急車の再利用方針を問う

明日のかわにし 小山敏明

質問 救急車は、年々出勤回数が増加する中で、更新基準に基づき8年程度で更新されている。

答弁 更新後の旧車両は、現在、救急予備車として運用しており、今般のコロナ禍においては、感染症患者の搬送専用車両として、引き続き当該予備車を活用していく考えである。救急車の再活用については、更新基

準は、医療機関からの依頼により再利用しているケースが全国でも見受けられることから、医療機関等からの依頼があれば、検討していきたいと考えている。

その他の質問項目

○成年後見制度について

ほか

福祉

フレイル予防に向けた具体策は

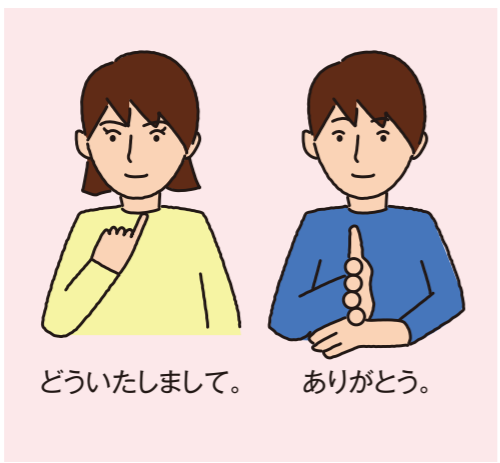
川西まほろば会 磯部裕子

質問 コロナ禍で、高齢者は感染に自覚を余儀なくされた結果、加齢による心身の働きや社会的つながりが弱くなった状態、いわゆるフレイルの進行に伴う認知症発症や要支援・要介護状態の重度化が懸念されている。

そこで、高齢者の健康維持やフレイル

向け、可能な限り検討を進めていきたいと考えている。

また、審議会のリモート開催については、必要なシステムや機器類等のハード面の整備は、本年7月に整備済みであることから、新型コロナウィルス感染症の拡大状況に応じ、部会の意見も踏まえて通常開催、リモート開催などの開催方法を選択して、条例制定に向けた検討を進めていきたいと考えている。



スポーツ

女子野球タウン認定に向けた取り組みを

市民クラブ、改革の風、福西 勝

質問 本年9月に一般社団法人全日本女子野球連盟において、女子野球をシティブロモーションとして活

用する自治体を「女子野球タウン」として認定する事業の公募が開始されている。同事業は、女子野球を通じてSDGsの掲げる目標であるジェンダー平等の実現や住みやすい活気あるまちづくりの実現に寄与することを標榜しており、本市のまちづくりに活用できると考える。

そこで、本市においても、近年全国的に競技人口が減少傾向にある野球を男女問わず身近に感じてもらえる工夫として、当該事業の認定申請を行う考えはないか。

答弁 本市においては、昨年、少年軟式野球連盟に女子小学生のチームが発足し、近隣の大会で活躍されていると聞き及んでいる。しかし、全日本女子野球連盟については中学生以上の硬式野球を中心とする団体であると聞いており、中学生の女子野球チームが存在しない本市にあつては、当該事業の申請を行うことは、現時点では困難であると考えている。

市としては、女子選手たちがいきいきと活動できる環境づくりは必要であると認識しており、同事業の認定を受けると効果や事業の継続性を研究しながら、選手や応援する人が増えるといった女子野球の機運の高まりを時間をかけて見守っていききたいと考えて

いる。
その他の質問項目
○これからの総合計画の考え方について

福祉 高齢者が外出しやすい まちづくりを

日本共産党議員団 吉岡 健次

質問 高齢者が自発的に外出し、社会参加と生きがいの向上を目的に、交通費を助成する高齢者おでかけ促進事業が廃止されて5年となるが、外出することは、健康増進や医療費の抑制に一定の役割を果たしており、現在、市が行っている健康マイレージは、体力が少し衰えた方などには始めにくく、同事業の復活を多くの市民が願っている。

答弁 現在のコロナ禍において、不要不急の外出自粛が要請されている状況を踏まえると、高齢者の健康維持・向上に資する環境づくりは大切であると考えている。

答弁 要不急の外出自粛が要請されている状況を踏まえると、高齢者の健康維持・向上に資する環境づくりは大切であると考えている。

唐突な出来事であり、丁寧な説明が求められると考える。

そこで、この計画(案)に対する市の基本的な考え方を伺いたい。

答弁 新たな計画(案)は、本年2月のタウンミーティング等でいただいた、地域包括システム構築に資する病床の整備を望む北部地域の住民の声に応えることができる市にとって良い提案であると感じているとともに、北部地域において回復期の病床が確保できる大きなチャンスであり、市としては、その病床確保に向けて最優先に取り組んでいきたいと考えている。

しかし、今井病院だけでは展開できる医療に限界があるため、現在、関係機関と協力・連携し、地域住民に可能な限り納得していただける内容を素案として示すための協議を行っており、9月中に新しい提案内容を提示し、市民と広く意見交換を行いながら、より良い形にまとめていきたいと考えている。

保健衛生

PCR検査拡充と発熱外来設置の方針は

日本共産党議員団 黒田美智

質問 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、本市は保健所を持

気軽に立ち寄れる地域のカフェ、ほっとできる居場所づくりなどを充実することで、外出への動機づけを図ることも、いつまでも元気で外出ができるよう、介護予防に関する施策などを複合的、重層的に実施していくことが、高齢者が外出しやすいまちづくりを考へていく上で大切となる。従って、高齢者おでかけ促進事業については改めて実施することは考えていない。

その他の質問項目



いきいき百歳体操(久代)

たない自治体として市民の安心につながる体制を構築すべきと考える。

そこで、医療・介護従事者や学校職員など、感染リスクが高い方への無償での定期的なPCR検査体制の整備や、陽性者に対する療養施設の確保のほか、開業医の不安の払拭や負担軽減のためにも発熱外来を設置する考えはないか。

答弁 現在、国や県においてもPCR検査実施体制の強化を図っており、市も実施数の増加が必要であると認識している。そこで、県が各地域に設置しているPCR検査センターを伊丹健康福祉事務所管内に設置するよう、市医師会及び健康福祉事務所と検討を進めている。併せて、市内の学校や福祉施設で検査の必要な方が多数発生した場合に対応するため、民間企業による検査の活用等も視野に入れて協議を行っていききたい。

なお、陽性者の療養施設は、県が入院病床も含めて必要数を確保しており、市として確保は考えていない。

答弁 発熱外来については、新型コロナウイルス感染症を契機に、以前から医師会と協議を行ってきた経緯がある。

しかし、新型コロナウイルスによる患者や医師のリスクに慎重に対応すべ

市民生活

「マイナンバーカード」さらなる有効活用を

川西まほろば会 松隈紀文

質問 マイナンバーカードについては普及率が低調で、本市においても令和2年7月時点で23・5%に留まっている状況である。また、同カードに格納されている氏名・住所・生年月日・性別の4情報を活用することにより、市窓口での各申請書への記入が不要となることから市民サービスの向上が図れるとともに、記入された情報の確認・修正作業が簡略化され、職員の業務負担の軽減にも寄与するものと考えている。

そこで、同カードに格納されている4情報の活用について、市の見解を伺いたい。

答弁 マイナンバーカードに格納されている4情報の活用については、市民サービスの改善に係る検討対象としており、同カードの普及状況や他のサービスと比較しながら、引き続き検討を行っていききたい。

答弁 窓口での申請において、来庁者による手書きでの記入をなくすことは重要であると認識しており、同カードを読み取ることで申請書に基

きとの意見もあり、PCR検査センターの設置を優先していきたい。

その他の質問項目

教育

小学校入学前の負担を軽減する考えは

市民クラブ、改革の風、中井成郷

質問 子どもを小学校に通わせるため、みんなと同じにしようという思いから、多くの家庭でランドセルを購入されているが、ランドセルは高価で、入学前から保護者の負担となっている。また、ランドセルより安価なかばんを採用している自治体もあると聞き及んでいる。

就学援助制度の新入学用品費にも、ランドセルの購入費用が含まれているものと認識しているが、保護者の教育費負担を軽減するために、慣習で購入している用品を減らしていくべきであると考えていることから、ランドセルは入学必需品であるのか、市の見解を伺いたい。

答弁 ランドセルについては、ご指摘のように就学援助制度の新入学用品費の積算に含まれてはいる

本情報を自動記入できる機器の導入について、同カードの普及率を見ながら検討していきたいと考えている。

また、昨年入れ替えた住民基本台帳システムには、チャットボットによる住民記録の異動申請情報を作成する機能が付与されており、申請者が来庁前にパソコンやスマートフォンで情報を入力し二次元コード化しておくこと、窓口での手書きによる記入が不要となることから、早期に稼働させていきたいと考えている。

病院

現病院跡地利用の新計画案に対する市の考えは

公明党 平岡 謙

質問 昨年2月に市立総合医療センター基本構想が策定され、市中心部に新病院となるキセラ川西センターを、現市立川西病院敷地内に北部診療所を整備することが発表されている。この方針に基づき、現在、キセラ川西センターは市立総合医療センターと名称を変え、建設に向けて動きだしたところである。

しかし、本年6月に現市立川西病院の跡地活用について、医療法人晴風園から今井病院を移転整備する新たな提案が示されたが、北部住民にとっては

が、教育委員会や学校では、入学必需品として特に指定しているものではない。各小学校における入学説明会で配布する案内でも「ランドセルなど背中に背負えるもの」等と表記しているものがほとんどである。

しかしながら、ランドセルはつくりが頑丈で長く使えることや、プリント類などが傷みにくいことに加え、背負うことで両手が使えやすいため、後ろに転んだ際も後頭部を打ちにくいといった安全面などの理由で、多くの家庭で準備されているのが現状であると考えている。

その他の質問項目

○新型コロナウイルス感染症拡大における本市教育の取り組みについて ほか



受理した陳情

- 要望書(知的障がい者のグループホーム新設及び、既存のグループホームへの補助等について)
- 川西市内にPCR検査センターの設置を求める陳情
- 要望書(新市民病院建設の際に留意して頂きたいこと、及び障がい者への対応等について)
- 川西保健所の復活を求める陳情
- 在日外国人学校児童・生徒の学ぶ権利の保障を求める要望書
- 精神保健福祉施策に関する要望書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書〈全文〉

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面しています。地域経済にも大きな影響が及び、本年度の税収はもとより来年度以降においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財源不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望いたします。

- 記
1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
 2. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
 3. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた償却資産・事業用家屋に係る固定資産税の軽減措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものでしたが、本来国庫補助金などにより対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

かわにし市議会からのお知らせ

●一般質問の日は午前9時30分から本会議を始めます

一般質問を予定している日は、午前9時30分開議・開会となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用やこまめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしていますが、傍聴については、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在9月定例会、10月臨時会の本会議の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることが出来ますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。

12月定例会(予定)

11月26日(木)	午前10時	本会議(招集日)
27日(金)	午前10時	常任委員会
30日(月)	午前10時	本会議(議案表決)
12月 3日(木)	午前9時30分	本会議(一般質問)
4日(金)	〃	本会議(〃)
7日(月)	〃	本会議(〃)
8日(火)	午前10時	常任委員会
9日(水)	〃	〃
10日(木)	〃	〃
24日(木)	〃	本会議(最終日)



川西市議会
ホームページ



広報委員会

委員長	秋田 修一
副委員長	斯波 康晴
委員	松田 麻美
	中井 紀文
	吉岡 成郷
	坂口 健次
	大矢根 秀明

心せわしい年の暮れ、市民の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月定例会・10月臨時会はコロナ対策を十分に取らながら開催し、一般議案、各会計の決算、議会構成に係る重要案件について議論いたしました。

依然として新型コロナウイルス感染症の猛威が市民生活を脅かしているところではありますが、安全に安心して暮らしていける川西市を目指して、これからも議会としてしっかりと取り組んでまいります。市役所が、今まで以上に「市民の役に立つ所となるように、もっと頼りになる存在となるべく、市民の皆さまの声を傾けて議論してまいりたいと思います。

「コロナ禍で、とにかく人と会うこと、話をすることがはばかられる昨今ではありますが、社会は人と人とのかわり成り立っています。正しく恐れながら互いにコミュニケーションをとりあい、これからも思いやりの和を広げてまいりましょう。